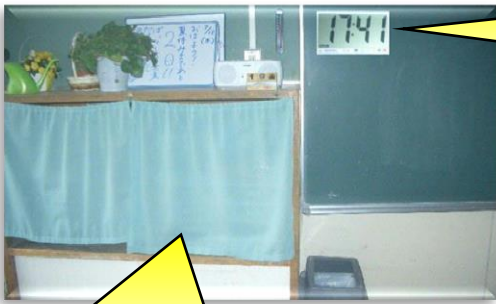


2 環境整備部

(1) 一人一人を大切にしたインクルーシブな環境づくり



教室前面の棚を、カーテンで隠すなど、授業への集中力を高めるために、教室前面の掲示等を配慮する。

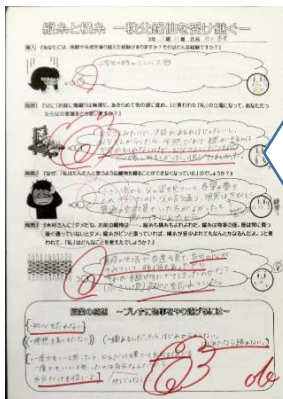
誰もが活動時間の見直しをもちやすくするために全授業でタイマーを活用する。ただし、あくまで目安であり、生徒の実態にあわせて活動時間を延長したり、縮めたりすることが必要である。



挙手をしたり自分の考えを発表したりすることが苦手な生徒でも、議論する道徳に参加することができるよう、ハートメーターを一人一枚ずつ持たせ、自分の意志や考えを表現させる。また、ホワイトボードを各班に持たせ、班の考えを書かせることで、音だけでは他者の考えが理解しづらい生徒にも、文字でじっくり他者の考えに触れることができるようにする。

(2) 道徳コーナーの設置

各学年の廊下や各教室には、道徳コーナーを設け、授業の内容や生徒のワークシートを掲示する。他者の様々な考えに触れる機会にするとともに、教師がコメントを入れることで、生徒の学習を褒め、認め、励ます評価をする機会とする。



褒め、認め、励ます教師のコメントを入れた生徒のワークシート



各学年廊下の「道徳コーナー」

(3) 道徳の見える化



合同あいさつ運動（年6日）



小中一斉下校（防災訓練を兼ねて）



生徒会による服装チェックなしの実活動

授業で学んだ道徳的価値を実践できる場を、年間を通して意図的に設定し、活動の様子を褒め、認め、励ましていく。